

平成27年度 事業実績報告書

＜法人事務局 総括＞

運営の実績については、社会福祉法人として社会福祉事業にふさわしい事業を確実、効率的かつ適正に執行するため、正副会長会議4回、評議員会2回、理事会2回、監事会1回を開催し、審議、協議、報告及び監査を行った。

事業の実績については、県の委託・共催事業が多いことから、県との密接な連携のもと、最少の経費で最大の効果を挙げることをモットーに取り組んだ結果、各事業で目標を達成することができた。

主な成果としては、今年度から新たに始めた聴覚障害児日常生活支援事業では、関係団体を通じて情報提供及び交流会を実施し、コミュニケーション障害の克服に一定の成果を挙げたこと。

また、毎年度県内外から多数の受講者が集う、サービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）研修会の実施では、熱意ある講師陣や今年度から新たに始めたファシリテーターの導入により人材育成の強化を図ったこと。

更には、身体障害者、知的障害者、精神障害者を統合した裾野の広い事業である、心いきいき芸術・文化祭の開催では、力作の福祉展作品や全身で表現したパフォーマンスステージで、多くの観客に感動を与え、障害者本人の生きがいや自信を創出したことである。

○ 運営の実績

1 正副会長会議

＜第1回＞ ・ 5月18日（月） ・ 県心身障害者総合福祉センター ・ 出席者 6名

・ 協議事項

- (1) 平成26年度事業実績報告について
- (2) 平成26年度収支決算について
- (3) 平成26年度決算の監査結果について
- (4) 平成27年度市町村身体障害者協会長及び事務担当者会議について
- (5) 第34回秋田県身体障害者福祉大会について
- (6) グループホームのその後について

＜第2回＞ ・ 7月1日（水） ・ 県心身障害者総合福祉センター ・ 出席者 6名

・ 協議事項

- (1) 第34回秋田県身体障害者福祉大会について
 - ① 協会長表彰受賞者の審査
 - ② 代表受賞候補者（自立更生功労者・団体育成功労者）について

③体験発表予定者について

④スローガン・大会宣言・大会決議文案及び提言予定者について

⑤副会長の役割分担（開会及び閉会のことば）について

・報告事項

(1) 市町村身体障害者協会及び事務担当者会議の概要について

(2) グループホームの進捗状況と建設予定地の視察について

<第3回> ・ 1月8日（金） ・ 県心身障害者総合福祉センター ・ 出席者 5名

・協議事項

(1) 評議員及び理事の欠員補充について

・報告事項

(1) グループホーム創設の進捗状況について

(2) 第15回心いきいき芸術・文化祭の実施状況について

(3) 平成28年3月開催の正副会長会議、評議員会及び理事会の日程確認について

<第4回> ・ 3月16日（水） ・ 県心身障害者総合福祉センター ・ 出席者 5名

・協議事項

(1) 評議員の欠員補充について

(2) 定款の一部改正案について

(3) 職員就業規則の一部改正案について

(4) 準職員就業規則の一部改正案について

(5) 短時間勤務職員就業規則の一部改正案について

(6) 職員給与規程の一部改正案について

(7) 障害者支援施設秋田ワークセンター運営規程の一部改正案について

(8) 特定個人情報取扱規程の制定案について

(9) 平成27年度収支補正予算案について

(10) 平成28年度事業計画案について

(11) 平成28年度収支予算案について

・報告事項

(1) 欠員に伴う理事の補充について

(2) 社会福祉法改正案の概要について

(3) グループホーム創設の進捗状況について

(4) 日本財団福祉車両助成事業による車両の購入について

(5) 平成28年度当初の諸会議開催日程の確認について

2 評議員会

- <第1回>
- ・ 5月28日（木）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・ 出席評議員 20名・出席監事 1名
 - ・ 欠席評議員 3名
 - ・ 議 事
 - (1) 平成26年度事業実績報告について
 - (2) 平成26年度収支決算について
 - (3) 共同生活援助（短期入所併設）事業所の創設について
 - (4) 共同生活援助（短期入所併設）事業所の創設に係る用地の取得及び積立金の取崩しについて
 - ・ 協議事項
 - (1) 第34回秋田県身体障害者福祉大会について
- <第2回>
- ・ 3月18日（金）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・ 出席評議員 14名・出席監事 2名
 - ・ 欠席評議員 7名
 - ・ 欠員評議員 2名
 - ・ 議 事
 - (1) 定款の一部改正案について
 - (2) 職員就業規則の一部改正案について
 - (3) 準職員就業規則の一部改正案について
 - (4) 短時間勤務職員就業規則の一部改正案について
 - (5) 職員給与規程の一部改正案について
 - (6) 障害者支援施設秋田ワークセンター運営規程の一部改正案について
 - (7) 特定個人情報取扱規程の制定案について
 - (8) 平成27年度収支補正予算案について
 - (9) 平成28年度事業計画案について
 - (10) 平成28年度収支予算案について
 - ・ 報告事項
 - (1) 欠員に伴う評議員及び理事の補充について
 - (2) 社会福祉法改正案の概要について
 - (3) グループホーム創設の進捗状況について
 - (4) 日本財団福祉車両助成事業による車両の購入について
 - (5) 平成28年度当初の諸会議開催日程の確認について

3 理事会

- <第1回> ・ 5月29日（金）・県心身障害者総合福祉センター
- ・出席理事 11名・出席監事 1名
 - ・欠席理事 なし
 - ・議 事
 - (1) 平成26年度事業実績報告について
 - (2) 平成26年度収支決算について
 - (3) 共同生活援助（短期入所併設）事業所の創設について
 - (4) 共同生活援助（短期入所併設）事業所の創設に係る用地の取得及び積立金の取崩しについて
 - ・協議事項
 - (1) 第34回秋田県身体障害者福祉大会について
- <第2回> ・ 3月24日（木）・県心身障害者総合福祉センター
- ・出席理事 10名・出席監事 1名
 - ・欠員理事 1名
 - ・議 事
 - (1) 欠員に伴う評議員選出の承認案について
 - (2) 定款の一部改正案について
 - (3) 職員就業規則の一部改正案について
 - (4) 準職員就業規則の一部改正案について
 - (5) 短時間勤務職員就業規則の一部改正案について
 - (6) 職員給与規程の一部改正案について
 - (7) 障害者支援施設秋田ワークセンター運営規程の一部改正案について
 - (8) 特定個人情報取扱規程の制定案について
 - (9) 平成27年度収支補正予算案について
 - (10) 平成28年度事業計画案について
 - (11) 平成28年度収支予算案について
 - ・報告事項
 - (1) 欠員に伴う理事の補充について
 - (2) 社会福祉法改正案の概要について
 - (3) グループホーム創設の進捗状況について
 - (4) 日本財団福祉車両助成事業による車両の購入について
 - (5) 平成28年度当初の諸会議開催日程の確認について

4 監事会 平成26年度における理事の業務執行状況及び法人の財産の状況を監査

- <法人事務局> ・5月11日(月) 県心身障害者総合福祉センター
・出席者 監事3名、会長、事務局長、所長
- <秋田ワークセンター> ・5月12日(火) 秋田ワークセンター
・出席者 監事3名、会長、事務局長、所長

○事業の実績

<重点目標1> 秋田ワークセンター利用者の自立と社会参加の促進

内容は9頁に記載

<重点目標2> 障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進

1 自立更生の環境づくり

障害者の自立更生の環境づくりのため、関係団体が自主的な事業に取り組めるように、事業助成金を交付した。

<参加者数>

・オストメイト社会適応訓練	128人
・音声機能障害者発声訓練	235人
・聴覚障害者(児)日常生活支援	137人
・車いす生活者社会生活行動訓練	28人
・筋ジス者機能訓練	9人
・車いす使用者のためのレクリエーション	96人
・視覚障害者に係る啓発・普及	207人

2 社会参加の促進

①手話通訳業務の推進

聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑に行うため、当協会に手話通訳者を設置し、手話通訳業務を推進した。

<通訳件数> 79件

<会議・打合せ出席回数> 19回

②意思疎通支援者の派遣

手話通訳者・要約筆記者の派遣により、聴覚に障害のある者と障害を持たない者との意思伝達を

図った。

<派遣件数>・手話 262件 ・要約筆記 91件

③字幕入りビデオカセットライブラリーの貸出し

テレビ番組や映画等に字幕や手話を挿入したビデオカセットの貸出しを行い、聴覚に障害のある者の知識と教養の向上を図った。

<貸出件数> 5件

<登録者数> 175件

④「秋田県ガイドセンター」の設置

指定居宅介護事業者情報を提供するための「秋田県ガイドセンター」を設置し、視覚障害者及び重度肢体障害者の移動対策を図る体制を整えた。

<連絡調整件数> 0件

⑤身体障害者の更生相談

当協会に「身体障害者総合相談室」を常設し、各種相談に対して適切な指導や助言を行うことで福祉の増進を図った。

<相談件数> 28件

⑥「ジパング倶楽部特別会員」入会等の手続

JR東日本が行っている「ジパング倶楽部特別会員」の入会等の手続を仲介し、社会参加の促進に寄与した。

<入会件数>・新規 24件 ・更新 160件

<重点目標3> 市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化

1 第34回秋田県身体障害者福祉大会の開催

障害者の福祉向上をめざす諸課題について、県民各層の理解を得るとともに、障害者自身の自立意識高揚と会員の団結を図り、併せて自立更生及び団体育成功労者の表彰を行った。

<被表彰者数>・自立更生功労者 9名 ・団体育成功労者 32名

2 市町村身体障害者協会長・事務担当者会議の開催

各市町村身障協会の活動事例の情報交換等により、活動の活性化の重要性を認識した。

<参加者数>・横手市開催 18名 ・秋田市開催 15名 ・北秋田市開催 32名

3 軽スポーツレクリエーション大会の実施

障がいの程度や年齢に関係なく、仲間と気軽に楽しく参加できる大会を実施し、障害を持つ方々の社会参加と健康維持・増進を図りながら、組織強化にも繋げた。

＜実施日＞ 平成27年10月3日（土）

＜会場＞ 秋田県社会福祉会館

＜参加者数＞ ・卓球バレー 91名 ・フライングディスク 70名

4 会報「身障秋田」の発行

当協会の事業計画や、予算・決算を掲載した会報「身障秋田」を作成し、市町村協会会員等に配布することにより、市町村協会活動の活性化と関係団体への広報を促進した。

＜発行月＞ 5月、1月

＜発行部数＞ 各10,300部

＜重点目標4＞ サービス管理責任者等の人材育成事業の推進

1 サービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）研修会の実施

障害者総合支援法の適切かつ円滑な運営に資するため、サービスの質の確保に必要な知識や技能を有するサービス管理責任者等を養成した。

＜研修日数＞ 11日

＜受講者数＞ 431名

2 要約筆記者ステップアップ研修会の実施

聴覚に障害のある方々の福祉に理解と熱意を有する者を対象に、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーション手段としての要約筆記の研修を行い、要約筆記奉仕員を養成した。

＜研修日数＞ 6日

＜受講者数＞ 14名

＜重点目標5＞ 身体障害者、知的障害者及び精神障害者を統合した事業の推進

1 第15回いきいき芸術・文化祭の開催

障害者が芸術・文化活動への参加を通して、障害者本人の生きがいや自身を創出し、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する県民の理解と認識を深めた。

＜作品応募数＞ ・身体 120点 ・知的 106点 ・精神 196点

＜製品販売施設数＞ 27事業所

＜パフォーマンスステージ出演者数＞ ・団体 10組 ・個人 2名

2 「障害者110番」の設置・運営

障害者の権利擁護にかかる相談等に対応するため、相談窓口を常設し、内容に応じて弁護士等による専門相談を行うなど、障害者の福祉の増進を図った。

<相談件数> ・身体 21件 ・知的 2件 ・精神 50件
・弁護士相談 6件 (内数)

3 県心身障害者総合福祉センター図書室の運営

県心身障害者総合福祉センター1階に障害者を対象とした図書室を設置し、ボランティアによる書籍の貸出しや閲覧のほか、インターネットによる情報の提供などを行った。

<貸出件数> 38件
<利用者数> 208名

4 秋田県障害者社会参加推進センターホームページの運営

障害者情報ネットワーク「ノーマネット」を活用した独自のホームページを開設し、身体・知的・精神障害者に関する各種情報を提供した。

<年間アクセス数> 4,778件 (1日平均 13件)